

WX

05

SH

かんたんスマホ

WX05SH

取扱説明書

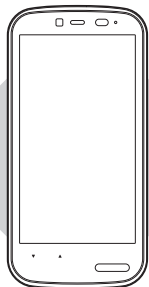
(保証書)

このたびは、「WX05SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
「WX05SH」をご使用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。  
本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

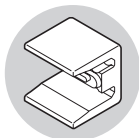
ご使用前に「安全上のご注意」(P.4-12～P.4-19)を必ずお読みください。

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使用を誤ったときや、静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- 重要な内容は必ず控えを取っておいてください。
- 本製品および本書の記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品を確認  
しましょう



■ WX05SH本体



■ SDカード・USIM  
カード抜挿ツール  
(試供品)

■ 取扱説明書(保証書)[本書]



■ microSDカード※  
(試供品)

※ お買い上げ時には、本機に  
取り付けられています。

- 万一、不足があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ACアダプタは付属していません。オプション品(別売)の「ウィルコム用充電ACアダプタ01(AC01-MU-K)」をお買い求めください。

# 取扱説明書の見かた

# 1

## はじめましょう

本機をお使いになるための準備から、基本操作までを流れに沿って説明しています。本機をお使いになる前に、必ずお読みください。

安全にお使いいただくために  
各部の名前／キーのはたらき  
本機を充電する  
電源を入れる／切る

基本的な使いかた  
アプリケーションを利用する  
文字入力のしかた  
Google アカウントについて

# 2

## 使ってみましょう

電話やメール、インターネットなど、基本的なアプリケーションの使いかたを説明しています。大事な部分ですので、ぜひお読みください。

電話をかける／受ける  
電話帳を利用する  
メールを利用する  
インターネットを利用する

写真やビデオを撮影する  
地図を確認する  
カレンダーを利用する  
本機の詳しい情報を確認する

# 3

## こんなこともできます

Wi-Fiでのインターネット接続や本機の設定など、よく使う便利な機能を紹介しています。目的に応じて、必要な部分をお読みください。

画面を拡大する  
アプリケーションを入手する  
Wi-Fiを利用する

本機のはたらきを設定する  
暗証番号について

# 4

## 参考にしてください

本機を便利に、そして安全に使いこなすための重要な情報をまとめています。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

こんなときは  
おもな仕様  
防水性能について  
安全上のご注意  
お願いとご注意

知的財産権  
について  
電話機の比吸収率  
(SAR)について  
Quick Tips

索引  
保証とアフター  
サービス  
お問い合わせ先

●詳しい目次は、各章の扉にあります。

# 使い方ガイドについて

この「取扱説明書」は、本機の基本的な使いかたを中心に説明しています。

より詳しい使いかたや、本書に記載されていない機能／アプリケーションの操作方法などを知りたいときは、「使い方ガイド」を利用してください。

## 使い方ガイド(本機専用サイト)

本機の画面で、本機の操作を確認できる専用サイトです。ホーム画面に配置されている基本的なアプリケーションの操作方法を詳しく調べたり、メニューをたどって知りたい情報を確認したりすることができます。



●操作方法については、P.2-20を参照してください。

## 使い方ガイド(パソコン用PDFファイル)

パソコンで閲覧できるPDFファイルです。印刷物のようなレイアウトで、本機の操作をじっくり確認することができます。パソコン専用サイトからダウンロードすることができます。



●ダウンロードについては、P.2-20を参照してください。



# 1

安全にお使いいただくために……………	1-2
各部の名前／キーのはたらき……………	1-4
本機を充電する……………	1-6
充電のしかた……………	1-6
電源を入れる／切る……………	1-8
電源を入れる……………	1-8
電源を切る……………	1-9
基本的な使いかた……………	1-10
ホーム画面のしくみ……………	1-10
ステータスバー(アイコン)と通知パネル…	1-11
ナビゲーションバーとアプリ使用履歴…	1-12
アプリケーションを利用する……………	1-13
アプリケーションを起動／終了する……………	1-13
隠れているアプリケーションを起動する…	1-14
文字入力のしかた……………	1-15
ひらがなを入力する……………	1-15
漢字などに変換する……………	1-16
Google アカウントについて……………	1-17
Google アカウントを取得する……………	1-17



はじめましょう

# 1 安全にお使いいただくために

## ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。

以下の内容および「安全上のご注意」(P.4-12～P.4-19)をお読みのうえ、正しくお使いください。

## こんな使いかたはやめましょう

### ■外部接続端子を接触させない

金属製のストラップやヘアピンなどで外部接続端子同士を接触させると非常に危険です。持ち運び時にも十分ご注意ください。



### ■分解/改造しない

感電やけがの原因となります。修理などはウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご依頼ください。



### ■防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけたりすると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。



### ■加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。



### ■指定品以外は使用しない

ACアダプタなどは、必ず指定のものをお使いください。



### ■運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。



## 歩きながらの使用はやめましょう

- 駅のホームや道路などで歩きながら本機を使用すると、接触事故の原因となります。
- 本機を使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようしてください。

## マナーを守りましょう

本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。次のような場所では、特にご注意ください。

### ■ 航空機内

電源を切りましょう。運航の安全に支障をきたす可能性があります。

- 機内モードに設定することなどで、航空機内で電話機を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください。

### ■ 医療機関

医療機関の指示に従いましょう。

### ■ 電車やバスなどの交通機関

車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

### ■ 混雑した場所

事前に機内モードに設定するか、電源を切りましょう。

- 付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

### ■ 劇場や映画館、美術館など

周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

### ■ レストランやホテルのロビーなど

静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。


### ■ 街の中

通行の妨げにならない場所で使いましょう。

## マナーを守るための便利な機能

### ■ マナーモード

着信があったりアラームが動作したりしても、本機から音が出ないようにします。

- マナーモードを設定／解除するときは、ホーム画面(☞P.1-9)またはウェルカムシート(ロック画面：☞P.1-8)でに長く触れます。
- マナーモードを設定していても、カメラのシャッター音／撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。




長く

### ■ 簡易留守録

電話を受けられないとき、相手のメッセージを本機に録音します。


### ■ 機内モード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

- 機内モードを設定／解除するときは、「電源を切る」の画面(☞P.1-9)でをタップします。

### ■ ドライブマナー

着信があっても、電話を受けられないようにします。

- ドライブマナーを設定するときは、「電源を切る」の画面(☞P.1-9)でをタップします。

# 1 各部の名前／キーのはたらき

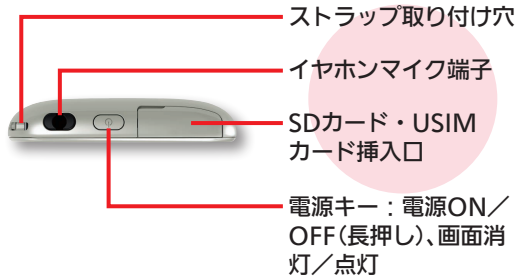
各部の名前やキーのはたらきを見ていきましょう。  
また、これからよく使うことになる、タッチパネルの使いかたも覚えましょう。

●本書では、キーを長く押す操作を「長押し」と表記しています。

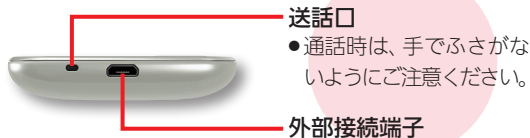
## ■ 正面



## ■ 天面



## ■ 底面



充電用のACアダプタや、パソコンと接続するUSBケーブルは、ここに接続します。

## ■ 背面

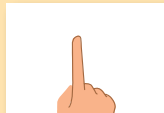


背面カバーは固定式です。取り外すことはできません。

## タッチパネルの使いかた

本機の画面はタッチパネルです。画面に直接触れて操作することができます。

次の基本操作を覚えておきましょう。



タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



フリック

画面に軽く触れて、上下左右に指を軽くはじきます。



ドラッグ

軽く触れたまま、目的の位置までなぞり、指を離します。



ピンチ

2本の指で画面に触れ、指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

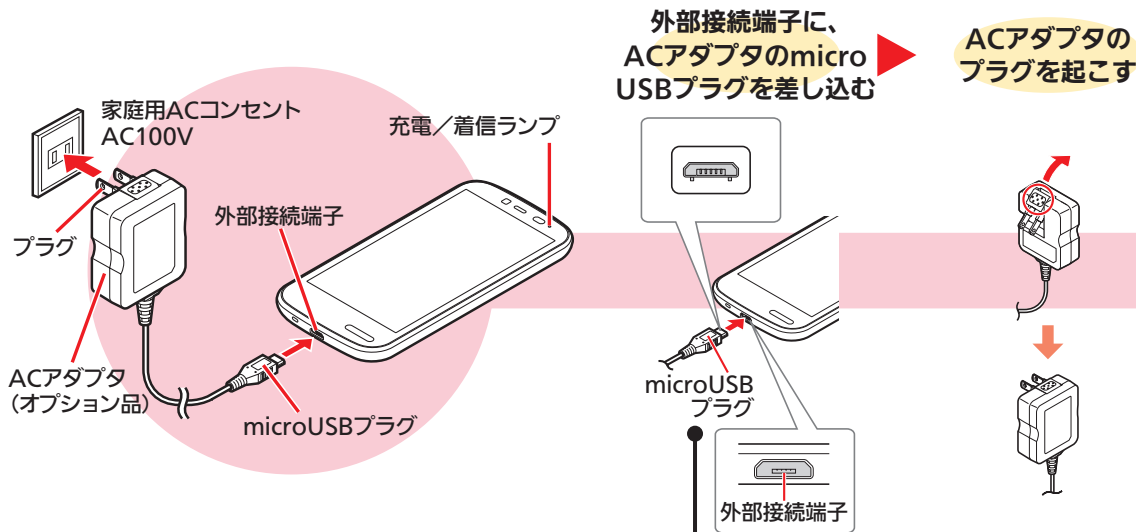
- 画面や音量キーに長く触れて、画面が切り替われば指を離す「ロングタッチ」も利用できます。

# 本機を充電する

お使いになる前に本機（内蔵電池）を充電しましょう。充電に必要なACアダプタは付属していませんので、オプション品（別売）の「威尔コム用充電ACアダプタ01（AC01-MU-K）」をお買い求めください。

- 電池残量が少なくなっていると、電源が入らないことがあります。

## 充電のしかた



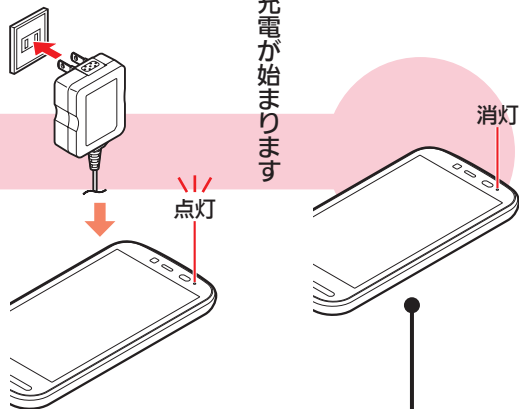
「内蔵電池について」(P.4-22)  
も必ずお読みください。

microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、差し込んでください。

ACアダプタのプラグを、家庭用ACコンセントに差し込む

充電／着信ランプが  
消灯すれば、充電完了

充電が始まります



ACアダプタのプラグをコンセントから抜いたあと、外部接続端子からmicroUSBプラグを取り外します。

### 充電／着信ランプが点滅しているとき

充電ができていません。指定品のACアダプタを使用して充電してください。それでも充電ができない場合は、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(☎P.4-48)にご相談ください。

### 充電時のご注意

充電にあたっては、次のことにご注意ください。

- 本機が濡れているときは、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- ACアダプタは、防水対応していません。
- 充電するときを除き、ACアダプタのプラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。
- 充電しても電源が入らない場合は、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 お客様相談センター(☎P.4-48)にご相談ください。

### 海外での充電について

海外での充電に起因するトラブルについては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 電源を入れる／切る

電源を入れましょう。最初に電源を入れたときは、使い始める前にいくつかの手順が必要になります。また、お使いの状態(設定)によっては、手順が異なります。ここでは、代表的な画面を中心に説明します。

- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

## 電源を入れる



上の画面は、本機の誤動作を防ぐための画面で、「ウェルカムシート(ロック画面)」と呼ばれます。

初期設定を中止するための操作です。



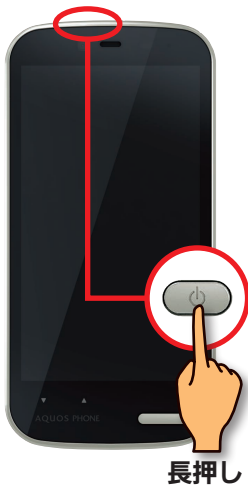
## 初期設定を行うとき

初期設定画面で「次へ」をタップし、各設定の画面に進みます。  
詳しくは、使い方がガイド(☞P.2-20)を参照してください。

## 画面ロックの解除について

お買い上げ時は、▼を下にドラッグする設定になっています。この設定は変更することもできます(☞P.4-26)。

## 電源を切る

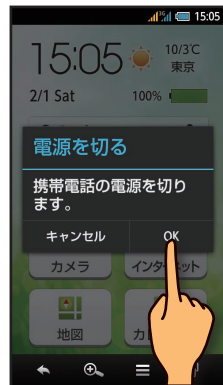


長押し

電源を切る



OK



上の画面は、本機の操作の入口となる画面で、「ホーム画面」と呼びます。

マナーモード(☞P.1-3)や機内モード(☞P.1-3)などを設定することもできます。何も操作せず元の画面に戻るときは、◀をタップします。

# 基本的な使いかた

本機のいろいろな操作は、「ホーム画面」から行います。ここでは、ホーム画面の操作を通して、本機の基本的な使いかた、画面のしくみなどを説明します。

- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

## ホーム画面のしくみ

ホーム画面は2つの画面に分かれています。画面は、上下にドラッグして切り替えることができます。

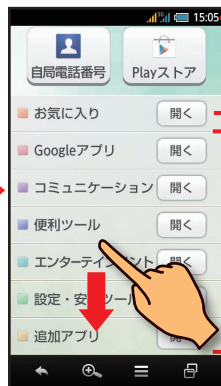
画面を上  
に  
ドラッグ

画面を下  
に  
ドラッグ

ホーム画面(上)

ホーム画面(下)

- 日時、天気、電池残量
- インターネット (Google™) で情報を検索
- アプリケーションを起動 (P.1-13)
- ナビゲーションバー (P.1-12)



ステータスバー (P.1-11)

よく使うアプリケーションを登録 (P.1-14)

その他のアプリケーションを表示/起動 (P.1-14)

他の画面からホーム画面に戻るときは、「ホームキー」(P.1-4)を押します。

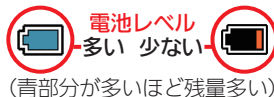
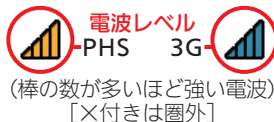
- ウェルカムシート (ロック画面) からは、ロック解除操作 (P.1-8) を行ってから押します。

## 画面の自動消灯について

本機は、電池の消費を抑えるため、操作しない状態が続くと、自動的に画面が消灯します。画面を再点灯するときは、「電源キー」または「ホームキー」(P.1-4)を押します。

## ステータスバー(アイコン)と通知パネル

画面上部には、本機の状態や、着信などをお知らせする「ステータスバー」が表示されます。

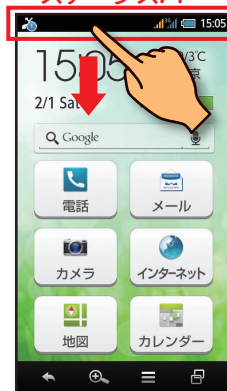


## その他のおもなアイコン

	メール受信あり
	不在着信あり
	簡易留守録伝言あり
	マナーモード設定中
	Wi-Fi接続中

ステータスバー  
を下にドラッグ

## ステータスバー



## 通知パネル



「通知パネル」では、お知らせ内容を確認したり、本機の設定を行ったりすることができます。

本機の設定を変更

お知らせ内容を確認/利用

本機の状態を確認

通知パネルを閉じる  
(上フリック)

通知パネルは、アプリケーション起動中の画面など、ホーム画面以外でも表示できます。

## 基本的な使いかた(続き)

## ナビゲーションバーとアプリ使用履歴

画面下部の「ナビゲーションバー」のアイコンをタップすると、次のような操作が行えます。



ナビゲーションバー



アプリ使用履歴

「アプリ使用履歴」では、アプリケーションの使用履歴を確認したり、終了したりすることができます。

アプリ使用履歴を表示(右記)

その画面で使用できる機能メニューを表示

画面を拡大表示(画面P.3-2)

1つ前の画面に戻る

- ホーム画面まで戻ると、アプリケーションが終了します。



すべての使用履歴を消去  
●起動中のアプリケーションもすべて終了します。

アプリケーション使用履歴

あらかじめ登録されているアプリケーションを起動

起動中のアプリケーション

ナビゲーションバーは、アプリケーション起動中の画面など、ホーム画面以外でも利用できます。

アプリケーション使用履歴を左右にフリックすると、履歴が消去(起動中のときは終了)されます。

# アプリケーションを利用する

本機のようなスマートフォンでは、電話やメール、カレンダーなどの機能を「アプリケーション」と呼びます。アプリケーションは、ホーム画面などから起動(利用)することができます。

●Playストアからアプリケーションを入手(インストール)し、利用することもできます。(☞P.3-3)

## アプリケーションを起動/終了する

ホーム画面で  
アプリケーション  
をタップ



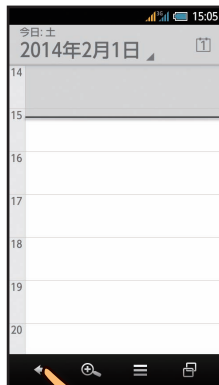
アプリケーションが起動します

アプリケーション  
を操作



終了するときは

(くり返しタップ)



ホーム画面に戻れば

アプリケーション  
が終了



「ホームキー」(☞P.1-4) を押してもホーム画面に戻りますが、アプリケーションは終了しません。アプリ使用履歴(☞P.1-12)から終了してください。

## アプリケーションを利用する(続き)

## 隠れているアプリケーションを起動する

ホーム画面で  
画面を上ドラッグ

ホーム画面(下)になります

利用する分類  
(カテゴリ)の開く

アプリケーションが表示されます

利用する  
アプリケーション  
をタップ

カテゴリを閉じるときは、閉じるをタップします。  
また、閉じずに複数のカテゴリを開くこともできます。

ウェルカムシート (ロック画面)から起動する

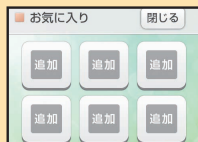
ウェルカムシート (ロック画面) で▼をタップすると、起動できるアプリケーションが表示されます。



- アプリケーションをタップすると起動します。

よく使うアプリケーション  
をお気に入りに登録する

ホーム画面で「お気に入り」の開く→追加→登録するアプリケーションをタップ



# 文字入力のしかた

本機の文字入力には、画面に表示されるソフトキーボードで行います。文字入力の基本は「ひらがな」です。ひらがなからは、漢字・カタカナ・英字などに変換することができます。

- ソフトキーボードは文字が入力できる状態(文字入力画面)になると、自動的に表示されます。

## ひらがなを入力する

文字入力画面で  
入力する文字の行  
のキーをタップ



最初の文字が表示されます

同じキーを  
くり返しタップ



目的の文字が表示されれば

同じ操作で次の  
文字を入力



すべての文字が入力できれば

確定




1つのキーには、複数の文字が割り当てられています。くり返しタップすると、次の文字が表示されます。

下線のついてる文字は、まだ入力が確定していないことを示しており、漢字などに変換することができます。

## 文字入力のしかた(続き)

## 入力した文字を修正する

文字入力画面で文字の後ろをタップすると、「|」(カーソル)が表示されます。この状態で文字を入力すると追加できます。また、をタップすると、カーソル前の文字を消去できます。

## 漢字などに変換する

文字入力画面で  
ひらがなを入力

漢字などの変換候補が表示されます

変換候補を  
上下にフリック









隠れている変換候補が表示されます

入力する変換候補  
をタップ

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。タップすると入力できます。





**カナ英数**をタップすると、カタカナや英数字の変換候補が表示されます。

## キーのはたらき

	文字を確定前に戻す
	カーソルを左に移動
	絵文字/記号/顔文字を入力*
	文字種を切り替え
	文字を削除
	カーソルを右に移動
	設定項目を表示
	改行

※メール(MMS)の本文入力時は、マイ絵文字も利用できます。

文字入力中(変換前)は次のキーが表示されます。

	文字を逆順に表示
	カタカナ/英数字変換
	通常変換
	文字の確定



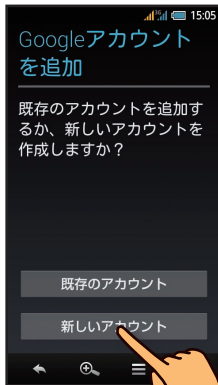
# Google アカウントについて

「Playストア」(P.3-3) のようなGoogle のサービスを利用するときなどは、下記左端の画面が表示され、Google アカウントでの「ログイン(認証)」が必要となります。

●ここでは、本機でGoogle アカウントを取得する方法を説明します。

## Google アカウントを取得する

新しいアカウント

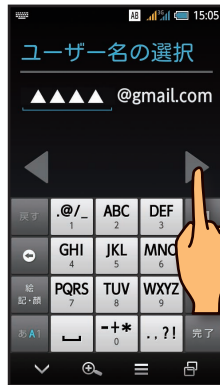


名前の入力画面になります



姓入力→次へ  
→名入力→

ユーザー名の選択画面になります



希望するユーザー名  
入力→

パスワードの入力画面になります



パスワード入力→  
次へ→パスワード  
入力(確認用)→

すでにGoogle アカウントを取得しているときは、**既存のアカウント**をタップします。

ここで指定したユーザー名が、Gmail™のメールアドレスの一部になります。お好きな名前を入力してください。

## Google アカウントを取得する(続き)

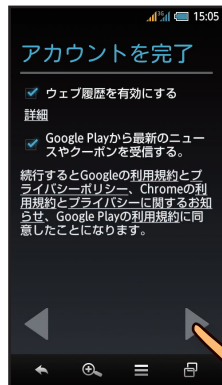
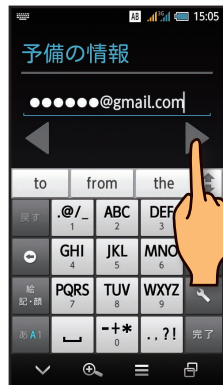
予備の情報入力



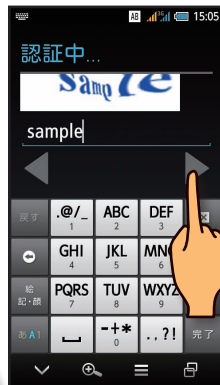
今は設定しない

入力欄をタップ  
歪んだ文字のとおり  
文字を入力

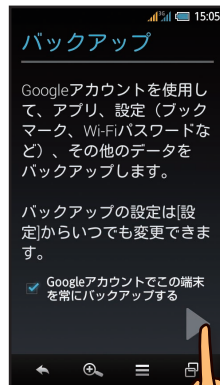
後で行う



認証画面になります



エンタティメント画面になります



セキュリティ保護用の質問/回答や、予備のメールアドレスを指定します。それぞれの項目をタップしてください。

上記以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

# 2

電話をかける／受ける	2-2
PHS回線で電話をかける	2-2
3G回線で電話をかける	2-3
履歴を利用して電話をかける	2-4
電話を受ける	2-5
電話帳を利用する	2-6
電話帳を登録する	2-6
電話帳で電話をかける	2-7
メールを利用する	2-9
メール(MMS)を送信する	2-9
SMSを送信する	2-10
受信メールを確認→返信する	2-12
以前に受信したメールを確認する	2-13
インターネットを利用する	2-14
情報を閲覧→ブックマークに登録する	2-14
ブックマークを利用する	2-15
写真やビデオを撮影する	2-16
静止画を撮影する	2-16
動画を撮影する	2-17
地図を確認する	2-18
地図を利用する	2-18
カレンダーを利用する	2-19
カレンダーを表示する	2-19
本機の詳しい情報を確認する	2-20
使い方ガイドを見る	2-20



使ってみましょう

## 電話をかける／受ける

本機は、PHS回線または3G(携帯電話)回線を利用して、電話をかけることができます。また、PHS用と3G用の2つの電話番号で電話を受けることができます。

- お買い上げ時には、PHS回線を優先して利用するように設定されています。

### PHS回線で電話をかける

ホーム画面で  
電話



電話画面になります

電話番号をタップ  
発信(PHS)

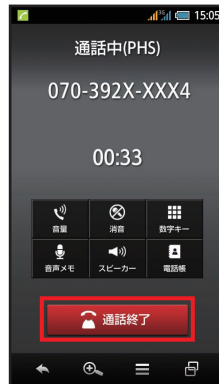


発信開始  
↓  
相手が電話を受けると

通話開始



電話を切るときは  
通話終了



3G回線での発信確認画面が表示されたとき  
PHS回線が圏外です。3G回線で発信するときは、  
OK→はいの順にタップします。

— 通話終了後に電話帳登録の確認画面が表示されたとき  
登録するときは、電話帳に登録をタップしたあと、画面の指示に従って操作します。登録しないときは、閉じるをタップします。

### 3G回線で電話をかける



## 履歴を利用して電話をかける

ホーム画面で  
(電話)

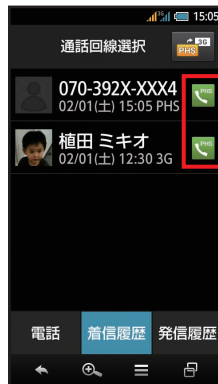
電話画面になります

着信履歴／発信履歴

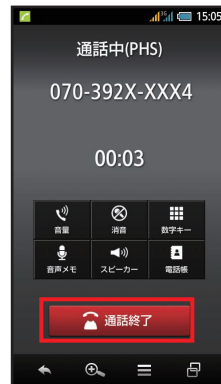


履歴一覧画面になります

発信する相手の



発信開始↓相手が電話を受けると

通話開始  
→電話を切るときは  
通話終了

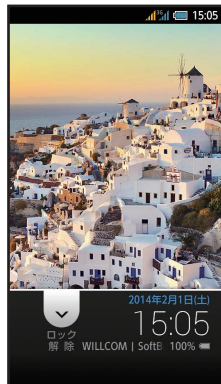
履歴の詳細(通話時間など)を確認するとき

履歴一覧画面で、確認する相手をタップします。このあと電話をかけるときは、**発信(PHS)**をタップします。

通話終了後に電話帳登録の確認画面が表示されたとき  
登録するときは、電話帳に登録をタップしたあと、画面の指示に  
従って操作します。登録しないときは、閉じるをタップします。

## 電話を受ける

電話が  
かかってきたら

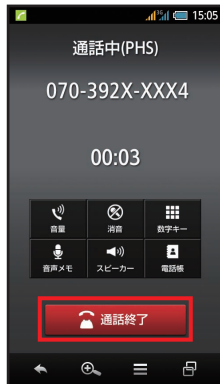


着信画面になります

応答を  
下にドラッグ



通話開始  
電話を切るときは  
通話終了



応答を下にドラッグしても電話を受けられないとき  
応答の下に👉が表示されていないときは、応答をタップ  
します(画面ロックが解除されているときの操作です)。

## かかってきた電話を 受けなかったとき

ウェルカムシート(ロック画面)に「不在着信あり」と表示されます。

また、ホーム画面の☎(電話)が点滅します。

## PHS回線での通話中に PHS電話番号に電話が かかってくる

音声着信画面が表示されます。**通話切替**をタップすると、かかってきた電話を受けることができます。

- それまでの通話は保留となり、**通話切替**をタップするたびに、相手を切り替えられます。
- 電話を受けないときは、**応答拒否**をタップします。
- 「割込通話サービス」(お申し込みが必要)に加入されていないときは、上記の操作はできません。

## 電話帳を利用する

電話帳に相手の情報を登録しましょう。電話番号やメールアドレスはもちろん、写真や着信時の動作、住所などの情報も登録することができます。

- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

### 電話帳を登録する

ホーム画面で  
「コミュニケーション」  
の開く➡👤(電話帳)



電話帳画面になります

☰➡新規登録



電話帳新規登録画面になります

登録する項目を  
タップ



内容を入力



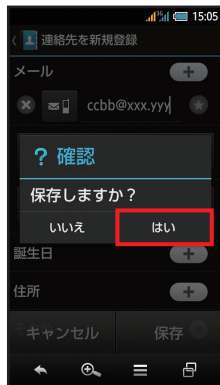
キーボード右下に**次へ**や**完了**が表示されているとき  
**次へ**をタップすると、続けて次の項目を入力することができます。  
**完了**をタップすると、キーボードが閉じます。



必要な項目の入力が  
終われば**保存**



**はい**  
(登録完了)



電話帳で電話をかける

ホーム画面で  
「コミュニケーション」  
の開く➡👤(電話帳)



電話帳画面になります

相手の名前の  
読みの行をタップ





## 電話帳で電話をかける(続き)

発信する相手を  
タップ

電話帳詳細画面になります

発信する電話番号の



発信開始↓相手が電話を受けると

通話開始  
→電話を切るときは  
通話終了

## 電話帳利用時のご注意

電話帳に登録したデータは、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。

また、事故/故障/修理/機種変更の際や、その他の取り扱いなどによっても、同様の可能性があります。大切な電話帳などは、定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。

なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

# メールを利用する

本機では、PHS/携帯電話やパソコンなどとやりとりができる「メール(MMS)」と、携帯電話との間で電話番号を宛先としてメッセージを送受信する「SMS」が利用できます(「ライトメール」は利用できません)。

●PHSデータ通信によるメールの送受信はできません。

## メール(MMS)を送信する

ホーム画面で  
メール



フォルダ一覧画面になります

メール作成

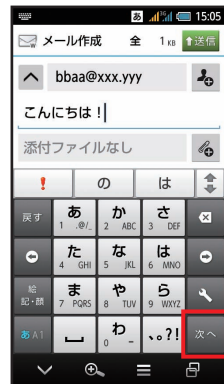


メール(MMS)作成画面になります

相手のメールアドレス  
を入力



件名を入力



Wi-Fi接続設定画面が表示されたとき

後で設定→OKの順にタップします。Wi-Fiについて詳しくは、「Wi-Fiを利用する」(P.3-4)を参照してください。

電話帳に登録している相手に送信するとき

電話帳引用の順にタップして、送信するメールアドレスまたは電話番号を指定します。

メール(MMS)／SMSの送信に失敗したとき  
圏外時などで送信に失敗したメールは、自動的に最大  
2回まで再送されます。

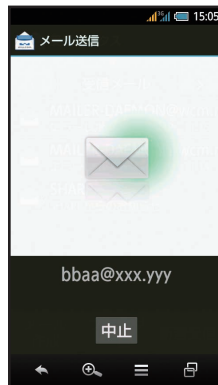
## メール(MMS)を送信する(続き)


本文を入力

送信(送信)



メール(MMS)が送信されます



本機で撮影した写真などを添付するとき  
本文入力後、 アプリケーション(アルバムなど)の  
順にタップして、添付する写真などを指定します。

## SMSを送信する

ホーム画面で  
メール



## SMSを送信する(続き)

メール作成 → ☰  
→ SMSに変換

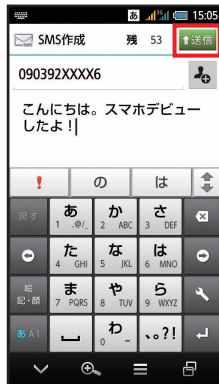


SMS作成画面になります

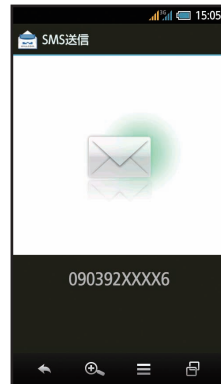
相手の電話番号  
を入力 → 次へ



本文を入力  
→ ↑送信 (送信)



SMSが送信されます



## 受信メールを確認→返信する

メールを受信すると  
お知らせが表示

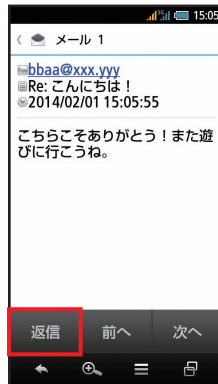


「新着メールあり」部分  
を下にドラッグ

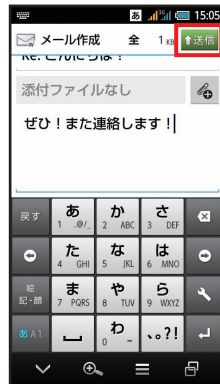


メール詳細画面になります

返信するときは  
返信



返信メールを作成  
送信(送信)



### アプリケーション利用中などに受信したとき

ステータスバーにメール着信のお知らせが表示されます。ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開き、受信メール通知をタップします。

## 以前に送信したメールを確認するとき

フォルダー一覧画面で、**送信メール**をタップします。**未送信フォルダ**をタップすると、保存したメールが確認できます。

## 以前に受信したメールを確認する

ホーム画面で  
メール



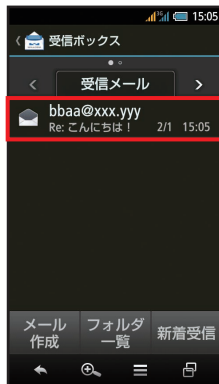
フォルダー一覧画面になります

受信メール

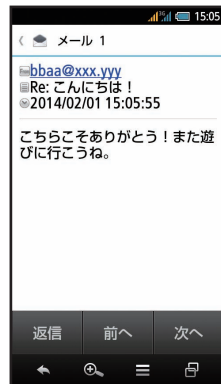


受信メール一覧画面になります

確認するメール  
をタップ



メール詳細画面になります



## インターネットを利用する

ウィルコム公式サイトや一般のパソコン用/スマートフォン用サイトなどを閲覧することができます。

- サービスや通信料など詳しくは、ウィルコムサービスセンター(☎P.4-48)までお問い合わせください。
- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

### 情報を閲覧→ブックマークに登録する

ホーム画面で  
(インターネット)



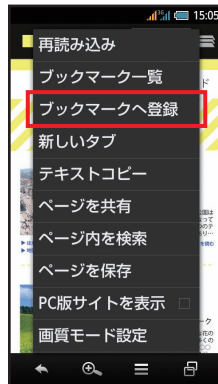
インターネット画面になります

必要な項目(リンク)  
をタップ



ブックマークに登録する画面で

ブックマークへ登録



名前/URLを確認  
→OK



文字サイズを変更するとき

文字サイズ→標準/大/最大の順にタップします。ただし、文字が重なるなど表示が崩れることがあります。また、インターネットを終了しても、設定は変わりません。

インターネットを終了するとき

≡→ブラウザ終了の順にタップします。



## ブックマークを利用する

ホーム画面で  
(インターネット)



インターネット画面になります

ブックマーク一覧



ブックマーク画面になります

利用するブック  
マークをタップ



登録した画面になります



## 写真やビデオを撮影する

本機には、写真(静止画)やビデオ(動画)が撮影できるカメラが搭載されています。撮影した静止画や動画は、SDカードに保存されます。

●記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

### 静止画を撮影する

ホーム画面で  
カメラ(カメラ)



静止画撮影画面になります

本機のカメラを  
被写体に向ける



カメラ(撮影完了)



静止画撮影画面の  
おもなマークについて



- 1 直前の撮影画像確認
- 2 シャッター
- 3 メニュー表示

## 動画を撮影する

ホーム画面で  
カメラ

静止画撮影画面になります

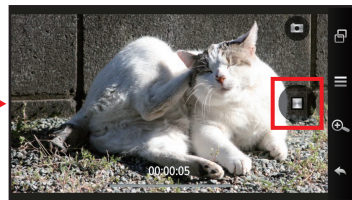
ビデオカメラに切替



動画撮影画面になります

本機のカメラを  
被写体に向ける

撮影を終わるときは



## 地図を確認する

現在地や指定した場所の地図を表示したり、お店などを検索したりすることができます。

- 目的地の経路を確認することもできます。詳しくは、使い方ガイド(☞P.2-20)を参照してください。
- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

### 地図を利用する

ホーム画面で  
📍(地図)



地図画面になります

検索  
検索方法をタップ



場所やお店など  
を入力→検索



検索結果が表示されます



# カレンダーを利用する

日本の祝日にも対応した、カレンダー(月単位/週単位/日単位)を利用することができます。

- 予定を登録することもできます。詳しくは、使い方ガイド(本書P.2-20)を参照してください。
- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

## カレンダーを表示する

ホーム画面で  
(カレンダー)

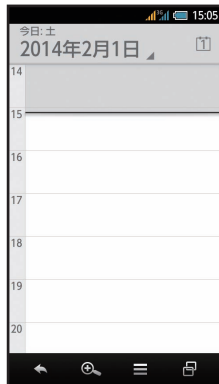


カレンダー画面になります

左上の日付をタップ  
▶ 日/週/月



カレンダー表示が切り替わります



## カレンダー画面の見かた



- 1 カレンダー表示切替
- 2 本日
- 3 祝日
- 4 予定

### 「予定リスト」について

予定リストをタップすると、あらかじめ登録されている日本の祝日や、自分で登録した予定を一覧で確認することができます。

## 本機の詳しい情報を確認する

本機の詳しい情報は、インターネット上の「使い方ガイド」で確認することができます。  
また、パソコン用のPDFファイルもダウンロードできますので、目的に応じてお使いください。

●ご利用にあたっては、インターネットへの接続が必要です。

### 使い方ガイドを見る

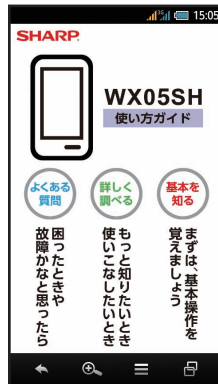
ホーム画面で  
「設定・安心ツール」  
の開く



(使い方ガイド)



必要な操作を行い  
情報を閲覧



トップページになります

### トップページの見かた



- 1 ホーム画面に配置されているアプリケーションなど、よく利用する機能の使いかたを見る
- 2 メニューをたどって知りたい情報を見る
- 3 よくある質問を見る

#### パソコン用PDFファイルについて

次のURLからダウンロードできます。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/w/wx05sh/manual.html>

# 3

画面を拡大する	3-2
虫眼鏡を利用する	3-2
アプリケーションを入手する	3-3
Google Play™を利用する	3-3
Wi-Fiを利用する	3-4
Wi-Fi設定を有効にする	3-4
アクセスポイントに接続する	3-4
メールのWi-Fi接続設定を行う	3-5
本機のはたらきを設定する	3-6
設定について	3-6
電話をかける回線を設定する	3-7
電池の消耗を軽減する	3-7
暗証番号について	3-8
操作用暗証番号を設定する	3-8



こんなこともできます

## 画面を拡大する

画面の文字が小さくて見えにくいときや、写真の一部分を細かく見たいときなどは、虫眼鏡を使って画面を拡大することができます。

- 画面下に🔍が表示される画面で利用できます。

### 虫眼鏡を利用する

1

拡大したい画面で🔍



- 虫眼鏡が表示され、画面の一部が拡大表示されます。

2

拡大したい場所へ、虫眼鏡をドラッグ



- ドラッグした場所が拡大表示されます。

3

虫眼鏡を消すときは🔍



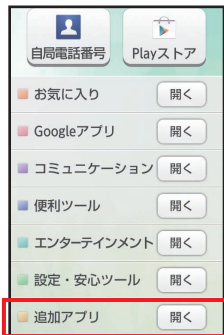
- 元の表示に戻ります。



# アプリケーションを入手する

アプリケーション提供用のサイト「Google Play」にアクセスして、いろいろなアプリケーション（有料／無料）を入手（インストール）することができます。

- インストールしたアプリケーションは、ホーム画面の「追加アプリ」に保存されます。



- 詳しくは、使い方ガイド（[図P.2-20](#)）を参照してください。  
ここでは、準備（Google アカウントでのログインなど）が整った状態での基本的な操作方法を説明します。

## Google Play™を利用する

- 1 ホーム画面で (Playストア)
  - Google Play画面になります。
  - 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- 2 インストールするアプリケーションを検索
- 3 インストールや金額などをタップ
  - 以降は、画面の指示に従って操作してください。

## アプリケーションのインストールについて

- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきまして、シャープおよび株式会社ウィルコムは一切の保証を致しかねます。

## アプリケーションの購入について

- アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、シャープおよび株式会社ウィルコムは責任を負いかねます。

## Wi-Fiを利用する

本機はWi-Fi(無線LAN)に対応しており、ご家庭のWi-Fi環境(アクセスポイント)などを通じて、インターネットを利用することができます。

- Wi-Fiでの通信は、3Gデータ通信やPHSデータ通信よりも優先されます。

### Wi-Fi設定を有効にする

1

ホーム画面で  
「設定・安心ツール」の開く



2

(設定) → Wi-Fi設定



- Wi-Fi設定画面になります。

3

アクションバーの OFF

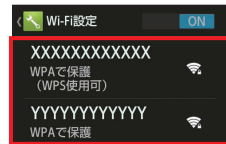


- ON が表示され、Wi-Fi設定が有効になります(近隣のアクセスポイントが表示)。

### アクセスポイントに接続する

1

Wi-Fi設定画面で、  
アクセスポイントをタップ



2

パスワードを入力 → 接続

- アクセスポイントに接続されます。

### パスワードについて

- パスワードは、ご家庭用のWi-Fiルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

## メールのWi-Fi接続設定を行う

Wi-Fiを利用してメール（MMS）の送受信を行うことができます。

1

### ホーム画面で📧(メール)

- フォルダー一覧画面になります。
- Wi-Fi接続設定画面になったときは、**今すぐ設定**をタップしたあと、**5**に進みます。

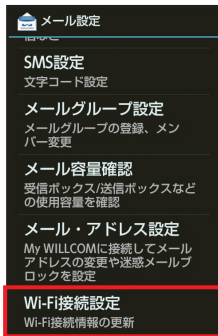
2

### 設定



3

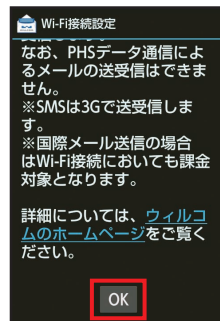
### Wi-Fi接続設定



- Wi-Fi接続設定画面になります。

4

### OK




5

### OK


- Wi-Fi接続設定が完了します。

## 本機のはたらきを設定する

### 設定について

ホーム画面内「設定・安心ツール」の  (設定) を利用すると、本機のはたらきを設定することができます。



- ここでは一部の機能を紹介しています。その他の操作について詳しくは、使い方ガイド(  P.2-20) を参照してください。

設定できるおもな項目と内容は、次のとおりです。

プロフィール	自分の電話番号やメールアドレスなどを確認
サウンド・バイブ	マナーモードの設定や着信音、操作音などを設定
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさなどを設定
省エネ	電池の消費を軽減する項目を設定／電池の利用状況を確認
端末情報	本機の状態を確認
アカウントを追加	アカウントの新規作成／追加、同期を設定
Wi-Fi設定	Wi-Fi接続の利用を設定
SoftBank Wi-Fiスポット	ソフトバンクWi-Fiスポットの利用を設定
通話	通話に関する機能を設定
メール	メールに関する機能を設定

ブラウザ	ブラウザに関する機能を設定
ホーム切替	ホームアプリの切り替え
チャージングシアター	ホーム画面またはウェルカムシート(ロック画面)で充電を開始したときに静止画や動画を表示
データ使用	データ使用量に関する機能を設定
ストレージ	本体やSDカードのメモリ容量の確認、SDカードのマウント、SDカード内のデータを消去、データをバックアップ
アプリケーション	インストールしたアプリや、実行中のサービスを確認
その他の設定	その他の機能のはたらきを設定

## 電話をかける回線を設定する

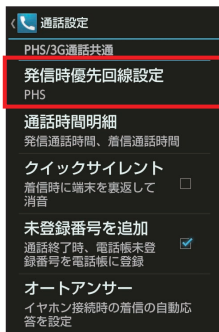
電話発信時に優先する回線（PHS／3G）をあらかじめ設定しておくことができます。

- 1 ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く

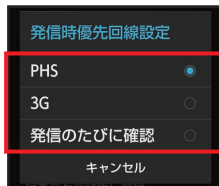
- 2  (設定)

- 設定画面になります。

- 3 通話 → 発信時優先回線設定



- 4 項目をタップ



- 発信のたびに確認**に設定すると、お客様が追加でインストールしたアプリケーションを利用して電話を発信する場合に、回線を確認する画面が表示されるようになります。

## 電池の消耗を軽減する

- 1 ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く

- 2  (設定) → 

### エコ技設定

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

- 3 技あり／お助け



- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

### エコ技設定について

- 「技あり」／「お助け」を選択した場合は、いくつかの機能が制限されます。また、「お助け」では画面の明るさが抑えられ、Wi-FiやGPSなどの通信機能が無効になります。

## 暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作作用暗証番号	各機能を利用するときに使います(お買い上げ時は設定なし)。
----------	-------------------------------

- 暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。
- 他人に知られ悪用されたときは、その損害について責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### 各機能で暗証番号の入力を間違えると

- 入力間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。

### 操作作用暗証番号を設定する

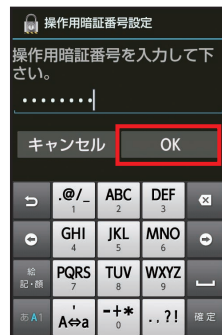
1 ホーム画面で「設定・安心ツール」の**開く**

2 (設定) → **その他の設定**  
→ **ロックとセキュリティ**



3 操作作用暗証番号設定 → **OK**

4 設定する操作作用暗証番号入力  
→ **OK**



5 設定する操作作用暗証番号を再度入力 → **OK**

6 **OK**

# 4

こんなときは	4-2
おもな仕様	4-6
防水性能について	4-8
安全上のご注意	4-12
お願いとご注意	4-20
知的財産権について	4-27
電話機の比吸収率(SAR)について	4-33
Quick Tips	4-36
索引	4-43
保証とアフターサービス	4-47
お問い合わせ先	4-48



参考にしてください

### Q 電源が入らない

- A ● **電源**を長押ししていますか。ロゴが表示されるまで、**電源**を押し続けてください。
- 充電はできていますか。充電ができていないときは、本機を充電してください。

### Q 電源が切れる／電源が入らない

- A ● 本機の温度が高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れます。本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。

### Q フリーズ／動作が不安定

- A ● **電源**を11秒以上押ししてください。数秒間待ったあとに**電源**を長押しすると、本機が起動します。電源を入れ直すと、編集中のデータは消去されます。

### Q 画面の上部に見慣れないマークが表示される

- A ● 本機の画面上部（ステータスバー）には、着信や本機の設定状態などを示すマークが表示されます。確認方法は、P.1-11を参照してください。

### Q 画面に触れていないのに本機が勝手に動作する／画面に触れても本機が反応しない

- A ● **電源**を押して画面を消灯させたあと、再度**電源**を押して画面を点灯させてから操作してください。

### Q 電池の消費が早い

- A ● 電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いませんか。電波の弱い状態で通話したり、圏外の場所にいたりすると、電池を多く消費します。
- ライトを頻繁に点灯する操作や音を出す機能／操作、外部機器との通信などを頻繁に行ったり、ディスプレイを明るくしたり、点灯時間を長く設定したりすると、本機の使用可能時間は短くなります。無駄な電池の消費が気になるときは、エコ技設定（**設定**P.3-7）を利用してください。



## ❶ 電話やメール、インターネットが利用できない

- Ⓐ ●電波の弱い場所や圏外の場所にいないかご確認ください。
- 電源を入れ直してください。
- 機内モードが設定されていませんか。ステータスバーに📴が表示されているときは、次の操作で機内モードを解除してください。
- 🔋(長押し) ➡ 機内モード
- データ通信が無効になっていませんか。次の操作でデータ通信またはデータ通信 (PHS) が有効となっていることを確認してください。
- ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡🔍 (設定) ➡ その他の設定 ➡ ネットワーク設定 ➡ モバイルネットワーク ➡ データ通信/データ通信 (PHS) (☑表示)
- 無効なアクセスポイントが設定されていませんか。次の操作で初期設定に戻すことができます。
- ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡🔍 (設定) ➡ その他の設定 ➡ ネットワーク設定 ➡ モバイルネットワーク ➡ アクセスポイント名 ➡ ☰ ➡ 初期設定にリセット

## ❷ アプリケーションがインストールできない

- Ⓐ ●本機またはSDカードの空き容量が少なくなっていないですか。次の操作で空き容量を確認することができます。
- ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡🔍 (設定) ➡ ストレージ
- 本機に対応していないアプリケーションは、インストールすることができません。

## ❸ 画面が急に暗くなる

- Ⓐ ●本機の温度が高くなると、自動的に画面の明るさが暗くなります。本機の温度が下がると、元の明るさに戻ります。

## ❹ 画面ロックが解除できない

- Ⓐ ●🔋を11秒以上押してください。数秒間待ったあとに🔋を長押しすると、本機が起動します。電源を入れ直すと、編集中のデータは消去されます。

## ❺ インターネット画面の文字が重なって表示が崩れる

- Ⓐ ●文字サイズが🔍または最大になっていませんか。次の操作で標準にしてください。
- インターネット画面で文字サイズ ➡ 標準

**Q** 充電できない／充電に時間がかかる

- A**
- ACアダプタのmicroUSBプラグが本機にしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
  - ACアダプタのプラグが、家庭用ACコンセントにしっかりと差し込まれていますか。いったん取り外し、もう一度確実に差し込んでください。
  - 指定品以外のACアダプタなどを使っていませんか。必ず指定品を使用してください。指定品以外のものを利用すると、充電できないばかりか、内蔵電池を劣化させる原因となります。
  - 充電／着信ランプが点滅していませんか。このときは、充電ができていません。指定品のACアダプタを使用して充電してください。それでも充電ができない場合は、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(☎P.4-48)にご相談ください。
  - 本機の外部接続端子、ACアダプタのmicroUSBプラグが汚れていませんか。端子部を乾いたきれいな綿棒などで清掃してから、充電し直してください。

- USB充電を利用していませんか。USB充電を利用すると、ACアダプタで充電したときよりも充電時間が長くなります。接続環境によっては充電できないことがあります。

**Q** 充電が止まる／充電が始まらない

- A**
- 本機の温度が高くなると、自動的に充電が停止します。本機の温度が下がると、充電を再開します。



**Q** USIMカードが認識されない

- A**
- USIMカードを正しく取り付けていますか。取り付け位置や、USIMカードの向きに問題はありますか。電源を切り、USIMカードが正しく取り付けられているか確認したあと、電源を入れ直してください。それでも症状が改善されないときは、USIMカードが破損している可能性があります。
  - USIMカードのIC部分に指紋などの汚れが付いていませんか。USIMカードを取り外し、乾いたきれいな布で汚れを落としたあと、正しく取り付けてください。
  - 違ったUSIMカードを取り付けていませんか。使用できないUSIMカードが取り付けられている可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。





## Q USB充電できない

- A
- パソコンの電源は入っていますか。電源が入っていないときは充電できません。
  - USBハブを使用していませんか。USBハブを使用しているときは、充電できないことがあります。市販のmicroUSBケーブルをパソコンに直接接続してください。

## Q 電話がかけられない／繋がらない

- A
- 機内モード**が設定されていませんか。ステータスバーにが表示されているときは、次の操作で**機内モード**を解除してください。  
 (長押し) → **機内モード**
  - 相手の電話番号を全桁ダイヤルしていますか。市外局番など、「0」で始まる相手の電話番号を全桁ダイヤルしてください。
  - 電波が届く場所にいますか。電波状態表示を確認しながら、電波の届く場所に移動してかけ直してください。

## Q 電話の相手の声が聞こえない

- A
- 通話音量が小さくなっていませんか。通話中にをタップすると、通話音量を大きくすることができます。
  - 常にハンズフリー機器を使って通話する設定になっていませんか。次の操作で**常にハンズフリー通話が無効になっていることを確認してください** (**Bluetooth**がONのときに確認できます)。  
ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く (設定) → **その他の設定** → **Bluetooth** →  → **常にハンズフリー通話** (表示)

## Q カメラが起動できない／自動的に終了する

- A
- 電池残量が少ないときは、カメラを起動できません。本機を充電してください。
  - カメラ起動後、画像撮影前にしばらく何も操作しないでおくと、自動的に終了します。

## Q SDカードを交換したい

- A
- お買い上げ時、本機には試供品のSDカードが取り付けられています。このSDカードを取り外したあと、お持ちのSDカードを取り付けてください。SDカードの取り扱いや交換方法について詳しくは、使い方ガイド (P.2-20) を参照してください。

## おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

### WX05SH本体

質量	約120g(内蔵電池を含む)
内蔵電池容量	2,080mAh
連続通話時間 <sup>※1</sup>	約14時間(PHSモード) 約13時間(3Gモード)
連続待受時間 <sup>※2</sup>	約400時間(PHS/3Gモード)
ワンセグ連続視聴時間 <sup>※3</sup>	約9.5時間
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	約3.5時間 (ACアダプタ AC01-MU-K使用時)
サイズ (幅×高さ×奥行)	約60×122×11.9mm (突起部 除く)
最大出力	0.01W(PHSモード) 0.25W(3Gモード)

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 ワンセグ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、サウンド設定「サラウンド」、画面サイズ設定「標準」の条件で、イヤホンマイクを使用し、電池残量約10%を残した計算値です。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロールを「OFF」、アウトドアビューを「ON」、画面の明るさを「21段階中の11段階目」に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られています。画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

## 使用材料

### ■ WX05SH本体

使用箇所	使用材料／表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	PA樹脂＋GF樹脂／UV塗装
背面カバー	PC樹脂／UV塗装、印刷
カード挿入口キャップ	PC樹脂＋エラストマー樹脂／UV塗装
カード挿入口キャップ（パッキン部）	PC樹脂＋シリコンゴム＋ステンレス
電源キー、ホームキー	PC樹脂／UV塗装
イヤホンマイク端子	ナイロン樹脂
ディスプレイ	強化ガラス／印刷
カメラ窓	PC樹脂＋アクリル樹脂／印刷
赤外線ポート	ABS樹脂
モバイルライト窓	アクリル樹脂
スピーカーメッシュ	PET

### ■ SDカード・USIMカード抜挿ツール(試供品)

使用材料／表面処理	POM樹脂
-----------	-------

### 本機の防水性能

本機は、カード挿入口キャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5(旧JIS保護等級5)<sup>※1</sup>、IPX7(旧JIS保護等級7)<sup>※2</sup>相当の防水性能を有しています(防塵性能は有しておりません)。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 本機は、IPX5/IPX7の防水性能を有していますが、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

### ■ 本機のお取り扱いについて

- カード挿入口キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がはさまると、水が浸入する原因となります。
- カード挿入口キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときは、カード挿入口キャップを絶対に開閉しないでください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着している状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。

## 使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - 海水、プールの水
  - 温泉、熱湯 など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ほこり、砂、泥などが付着した場合は、すぐに常温(5℃~35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(キー操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥(☞P.4-11)を行ったうえでご使用ください。
- ACアダプタ(オプション品)は、防水対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- カード挿入口キャップに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(☞P.4-48)にお問い合わせください。

## 充電時のご注意

- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。必ず乾燥させてからお使いください。
- ACアダプタは、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 外部接続端子部に水が浸入したときは絶対に充電しないでください。充電する前は、必ず水抜き(☞P.4-11)を行ってください。

### 防水性能を維持するために

- カード挿入口キャップのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - カード挿入口キャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。
  - カード挿入口キャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご相談ください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、カード挿入口キャップを交換することをおすすめします。お客様ご依頼によるカード挿入口キャップの交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」(P.4-48)または、お近くのウィルコムプラザ/ウィルコムカウンターへご相談ください。

### 本機の洗いかた

本機に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流〔6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水〕で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カード挿入口キャップが開

かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。また、よく乾燥したあと電源を入れてください。

- カード挿入口キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。



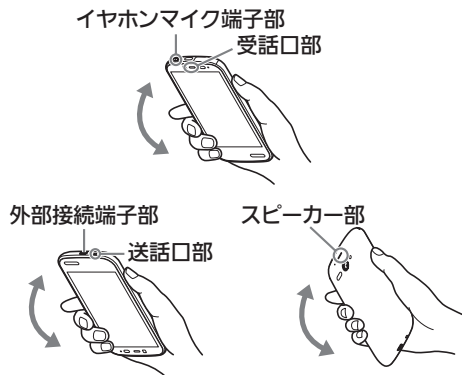
## 水抜きのみかた

水に濡れたあとは、必ず次の各部の水抜きを行ってください。

- イヤホンマイク端子部、受話口部、外部接続端子部、送話口部、スピーカー部

### ① 本機の表面の水分を乾いた布などで拭く

### ② 本機をしっかりと持ち、20回程度振る



- 本機を振るときは、落とさないように注意してください。

### ③ 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る



- 各部の穴に水がたまっていることがあります。各部の穴に布を当て、軽くたたいて水を出してください。
- 水を拭き取る目的であっても、布や綿棒などを内部に押し込まないでください。

### ④ 乾いた布などを下に敷き、2~3時間程度常温で放置する

#### 水抜き後のご注意




- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートする恐れがあります。
  - 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

## 安全上のご注意







ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明します。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

## 本機、USIMカード、SDカード、ACアダプタ(オプション品)の取り扱いについて(共通)



**危険**

本機に使用するACアダプタ(オプション品)は、指定されたものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。



指示

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



分解禁止

本機内部・ACアダプタを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



水濡れ禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。



禁止

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機にACアダプタをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。ACアダプタのmicroUSBプラグの向きを確かめてから、接続を行ってください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止



**警告**

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。

ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。



禁止

## 安全上のご注意(続き)

本機・ACアダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れてたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



禁止

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。



指示

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ<sup>®</sup>対応電話機をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。



指示

1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子に、水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。



禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。

本機が濡れている状態で絶対に充電しないでください。



禁止

感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどなどの原因となります。

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。



禁止

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

**注意**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。



指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。



指示

けがなどの原因となります。

**内蔵電池の取り扱いについて****危険**

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。



禁止

内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。



禁止

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。



指示

失明などの原因となります。

**警告**

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。



指示

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。



指示

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

本機の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

## 安全上のご注意(続き)

ペットが本機に噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。



指示



注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

電池を内蔵していますので、お近くのウィルコムプラザ/ウィルコムカウンターへお持ちください。適切に処理いたします。



禁止

## 本機の取り扱いについて



警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら電話機を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐車場が禁止されていない安全な場所に車を止めてからご使用ください。



禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で電話機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

**注意**

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。



禁止

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。



指示

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります(使用材料：P.4-7)。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。



禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。



禁止

本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。



指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。



禁止

難聴になる可能性があります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。



指示

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。



指示

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

**ACアダプタ(オプション品)の取り扱いについて****警告**

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。



禁止

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

• ACアダプタ：AC100V-240V(家庭用ACコンセント専用)  
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

## 安全上のご注意(続き)

長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。



万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持って、コンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。



プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。

火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。



指示

濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



禁止



注意

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。けがや故障の原因となります。



禁止



## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会 [平成9年4月]) および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省 [平成25年1月]) の内容を参考にしたものです。



### 警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視病室 (CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、電話機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態 (例：機内モード) に切り替えるか、または電話機の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



指示

## ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずウィルコムサービスセンターまでご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故・故障・修理・機種変更などの際や、その他の取り扱いなどによって、本機/SDカードに登録したデータ（電話帳・音楽・静止画・動画など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なデータは、定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。

## ● 傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。

本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

■ 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

- インターネットのサイトには、悪質なものと有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「**Google Play**」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容(品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など)およびそれに起因するすべての不具合(ウイルスなど)につきましては、一切の保証を致しかねます。

## 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報(金等)を確認できます。

ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡(設定)➡  
端末情報➡技術基準適合証明

## microUSBケーブル充電利用時のご注意

市販品のmicroUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。

## 高温時のご注意

- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

## お取り扱いについて

- 電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがありますので、ご注意ください。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度、目安として電池残量が40%程度の状態まで充電してください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご利用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご利用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご利用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

## お願いとご注意(続き)

- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本機の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとしないでください。破損や故障の原因となります。また、防水性能を損なう原因にもなります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けしないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するとき、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

### 強制的に電源を切る

本機が、動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、**[⏻]**を11秒以上押してください。数秒間待ったあとに**[⏻]**を長押しすると、本機が起動します。

### 内蔵電池について

- 内蔵電池の充電能力を確認するときは、次の操作を行ってください。  
**ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く** **[設定]** **▶**  
**端末情報** **▶** **端末の状態** **▶** **電池の状態**
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようご注意ください。
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - 電池残量がない状態(本機の電源が入らないほど消費している状態)での保管
- 内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがあります。安全上問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、本機をお預かりして有料にて承ります。ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(☎P.4-48)にご相談ください。

## ■ リチウムイオン電池について

本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。



## オールリセットについて

オールリセットすると、本機のシステムメモリのデータがすべて消去されます（お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含まれます）。

リセットした内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

## カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

## タッチパネルについて

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - 手袋をした指や爪の先での操作
  - ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
  - 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - 濡れた指で操作しない
  - タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - 強く押し過ぎない
  - タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。
  - ホーム画面で「設定・安心ツール」の開<=>（設定）>▶ 端末情報▶ タッチパネル補正▶ 画面に従って操作
- 次のようなときは、**[電源]**を押して画面を消灯させたあと、再度**[電源]**を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - 画面に触れても、本機が反応しないとき

## Wi-Fi(無線LAN)について

無線LAN(以降「Wi-Fi」と記載)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります(特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります)。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

### ■ 使用上の注意事項


本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、ウィルコムサービスセンター(☎P.4-48)までお問い合わせください。

### ●周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡ (設定) ➡  
端末情報 ➡ 認証

2.4DS/OF4

### ■ Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi(IEEE802.11b/g/n)は、Bluetooth®と同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャンネルは1-13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。

## Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ■ 使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、ウィルコムサービスセンター（☎P.4-48）までお問い合わせください。

### ● 周波数帯について

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡閉じる（設定）➡端末情報➡認証

2.4FH1

### 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 3G通話中、3G通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

## 画面ロックの解除について

お買い上げ時は▼を下にドラッグすると、画面ロックが解除されます。

セキュリティを強化するため、顔認証させて解除したり、登録した形に画面をなぞって解除したり、パスワードやロックNo.を入力して解除したりするように設定することもできます。

ホーム画面で「設定・安心ツール」の開閉(設定)→  
**その他の設定**→**ロックとセキュリティ**→**画面のロック**  
 →解除方法を選択(以降は画面指示に従う)

- 画面ロック解除に設定したパターン/ロックNo./パスワードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、お近くのウィルコムプラザ/ウィルコムカウンターにて所定の手続きが必要となります。  
 その際、お客様が登録/設定した内容が消失しますのでご了承ください。
- パターン入力で画面ロックを解除するときに、Google アカウントが設定されている場合、5回連続して間違えると**忘れた場合**が表示されます。**忘れた場合**をタップしGoogle アカウントでログインすると、画面ロックを解除できます。

## SSL/TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL/TLS(インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法)を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。お客様ご自身によるSSL/TLSの利用に際し、株式会社ウィルコム、シャープ株式会社および認証会社である日本ペリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。



# 知的財産権について

## 肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

## 著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人  
人格権などをはじめとする著作権等の権利が含まれてお  
り、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフ  
トウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変した  
り、ハードウェアから分離したり、逆アSEMBル、逆コンパ  
イル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。  
第三者にこのような行為をさせることも同様です。

## オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。  
**ホーム画面で「設定・安心ツール」の開く➡(設定)➡端末情報➡法的情報➡オープンソースライセンス**
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください  
<https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/>

動画の撮影/再生の技術には「MPEG-4」が使われています。 This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/

またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限りま) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ (以下「VC-1ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) VC-1ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限りま) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

Microsoft<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>、Excel<sup>®</sup>、PowerPoint<sup>®</sup>は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。


Microsoft<sup>®</sup> Excel<sup>®</sup>、Microsoft<sup>®</sup> Word、Microsoft<sup>®</sup> Officeは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびは、シャープ株式会社の登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.

FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、Google 検索™、Google 検索 ロゴ、Google メッセンジャー™、Google メッセンジャー ロゴ、Google 設定™、Google 設定 ロゴ、Google Now™、Picasa™、YouTube™ およびYouTube ロゴは、Google Inc. の商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。

DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

「GALAPAGOS STORE」、「AQUOS PHONE」ロゴ、「AQUOS/アクオス」、「AQUOS」ロゴ、「Smart Familink/スマートファミリンク」、「エコ技」マーク、「SH SHOW」ロゴ、「文辞技」、「アウトドアビュー」、「エコバックライトコントロール」、「Sweep ON」、「Shake OFF」、「Bright Keep」、「チャージングシアター」、「ON速起動」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.



The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

AOSS™は株式会社パツファローの商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。



Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) で、無線LANの接続設定内容 (SSIDや認証方式、暗号キーなど) をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。



Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, Wi-Fi Protected Access® (WPA), Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

---

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

---

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation

この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

---

音声コーデックには Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation の Speex を使用しています。

© 2002-2003, Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation

---

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

\*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

\*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

\*Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

---

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright © 2012 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

---

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2014 All Rights Reserved.

iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2014 All Rights Reserved.

---

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。  
\*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

## 知的財産権について(続き)

- 「ジーニアス和英辞典MX第2版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「ジーニアス英和辞典MX増補版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「明鏡国語辞典MX第二版」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

PhotoScouter<sup>®</sup>は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

Facebook<sup>®</sup>およびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の登録商標または商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.  
emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の商標です。

まもるゾウは、株式会社AXSEEDの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

デコレメール、楽デコ、スマセレはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

©SoftBank Mobile Corp. /Powered by MediaDo

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

# 電話機の比吸収率(SAR)について

## 電話機の比吸収率<sup>\*1</sup>(SAR)について

この機種【WX05SH】の電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準<sup>\*1</sup>は、人体頭部のそばで使用される電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが $2\text{W/kg}$ <sup>\*2</sup>の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本機【WX05SH】の SARは、PHS方式時は $0.036\text{W/kg}$ 、3G方式時は $0.357\text{W/kg}$ です。この値は、国が定めた方法に従い、本機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、本機は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

## ■ 側頭部以外の位置でご使用になる場合

本機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにすることで、本機は電波防護の国際ガイドラインに適合します<sup>\*3</sup>。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

### 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

### 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

<sup>\*1</sup> 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

<sup>\*2</sup> 平成9年に (旧) 郵政省 電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

<sup>\*3</sup> 電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格 (IEC62209-2) が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

## 電話機の比吸収率(SAR)について(続き)

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「**米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報**」「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

### 米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は $<0.10\text{W/kg}$ です。

身体装着の場合：本機【WX05SH】では、一般的な電話機の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に電話機を固定できる装身具を使用し、

ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>



## 欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本機【WX05SH】は無線送受信機器です。本機は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.275W/kgです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

## Quick Tips

### Before Using Handset

Charge handset before powering on for the first time (not adequately charged at time of purchase).

- Handset may not power on when charge is low.
- If handset does not power on even after charging, contact WILLCOM Service Center or Sharp Customer Assistance Center.

### Accessories

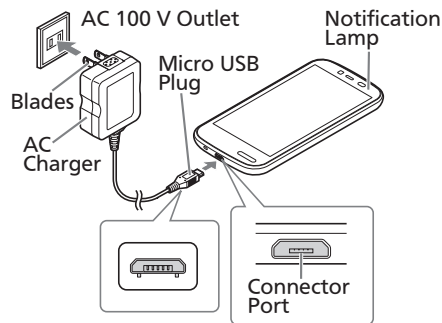
- SD/USIM Card Insertion/Removal Tool (complimentary sample)
- microSD Card (complimentary sample, preinstalled)

(Battery is built into handset; handset back cover is not removable.)

### Charging

AC Charger is not included in the package; purchase **WILLCOM AC Charger 01 (AC01-MU-K)** separately.

- AC Charger is not water proof. Never charge handset while it is wet; may cause electric shock, or fire, malfunction, burns, etc. due to short-circuiting.
- Handset/AC Charger may become warm while charging.



### 1

#### Insert Micro USB plug into Connector Port

- Insert Micro USB plug in correct orientation; otherwise, Connector Port may be damaged. Confirm contours and orientation of Micro USB plug before inserting it.

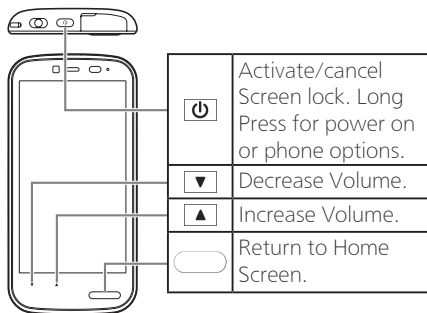
## 2 Rotate blades out, then plug AC Charger into AC outlet

- Notification Lamp illuminates while charging.
- Notification Lamp goes out when charge is full.

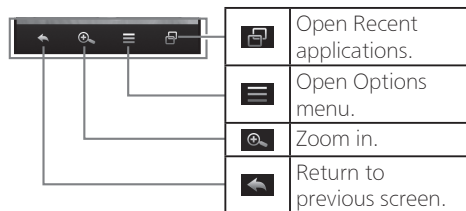
## 3 Unplug AC Charger and retract blades

## 4 Remove Micro USB plug from Connector Port

### Handset Keys



### Navigation Bar



## Quick Tips (Continued)



### Basic Operations

#### Power On/Off


##### ■ Power On



 (Long Press)

After Powering On

Drag  down → OK → 

Screen Lock

After a period of inactivity or Pressing , Display goes completely dark and Screen lock activates. To cancel, Press

 then Drag  down.

##### ■ Power Off

 (Long Press) → 電源を切る → OK

#### My Phone Number

Drag up in Home Screen →  (自局電話番号)

### General Notes

#### Handset

Do not disassemble or modify handset.

#### CE Declaration of Conformity

# CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that WX05SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC. A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: <http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

#### ■ Battery Cautions

Use specified AC Charger only.

Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause AC Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a WILLCOM Plaza/WILLCOM Counter for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5°C - 35°C; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

---

## ■ Mobile Light

---

### Do not shine Mobile Light in eyes.

May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

## ■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.528 W/kg\* and when worn on the body, is 0.275 W/kg\*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 1.5 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to

the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network. The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

---

\*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

World Health Organization  
<http://www.who.int/emf>

## ■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 12.0 mV.

## Quick Tips (Continued)

### FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### ■ FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.

2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

### ■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

---

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when worn on the body in a holder or carry case, is  $< 0.10$  W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 15 mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 15 mm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00195.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

## Customer Service

## ◆Handset Operations◆

## ■ Sharp Corporation

## Customer Assistance Center

☎ 0120-606-512

\*May not be accessible from some IP phones.

Business hours: 9:00 AM to 6:00 PM, Monday through Friday

(Excluding national holidays, New Year holidays and other company holidays)

## ◆Repairs of Handsets◆

## ■ Sharp Corporation

## Communication Systems Group

Mobile Telecommunication Services Business  
Promotion Center Repair Service Promotion  
Dept. Chugoku Center 2 (PHS)

☎ 0570-081010

\*Flat rate from anywhere in Japan.

\*From an IP/PHS phone, dial 082-420-1757.

Business hours: 9:00 AM to 5:40 PM, Monday through Friday

(Excluding national holidays, New Year holidays and other company holidays)

## ◆WILLCOM Services◆

## ■ WILLCOM Service Center

## ●General Information

From a WILLCOM handset, dial at 151  
(charges apply)

\*"Dare To Demo Teigaku" free call plan applies.

From another carrier's mobile phone,  
landline, etc., dial at 0570-039-151  
(charges apply)Operators available 9:00 AM to 8:00 PM, 7  
days a week

## ●Services

From a WILLCOM handset, dial toll free  
at 116From another carrier's mobile phone,  
landline, etc., dial toll free at 0120-921-156  
Automated voice response system available 24  
hours a day, 7 days a weekCharges may apply if operator assistance is required for  
the service.



## 索引

## 数字

- 1つ前の画面に戻る ..... 1-12  
 3G回線で電話をかける ..... 2-3

## アルファベット

- Bluetooth®機能について ..... 4-25  
 Customer Service ..... 4-42  
 FeliCaマーク ..... 1-5  
 Google Playを利用する ..... 3-3  
 Google アカウント ..... 1-17  
 MMSを送信する ..... 2-9  
 PHS回線で電話をかける ..... 2-2  
 Quick Tips ..... 4-36  
 SAR ..... 4-33  
 SDカード・USIMカード挿入口 ..... 1-4  
 SMSを送信する ..... 2-10  
 SSL/TLSについて ..... 4-26  
 Wi-Fiを利用する ..... 3-4、4-24

## あ

- アウトカメラ ..... 1-5  
 アクセスポイントに接続する ..... 3-4  
 アプリケーションを起動/終了する ..... 1-13  
 アプリケーションを入手する ..... 3-3  
 アプリ使用履歴 ..... 1-12

- 暗証番号 ..... 3-8  
 安全上のご注意 ..... 4-12

## い

- 以前に送受信したメールを確認する ..... 2-13  
 イヤホンマイク端子 ..... 1-4  
 インカメラ ..... 1-4  
 インターネット ..... 2-14  
 インターネットを終了する ..... 2-14

## う

- ウェルカムシート(ロック画面) ..... 1-8、1-14

## え

- エコ技設定について ..... 3-7

## お

- オールリセット ..... 4-23  
 お気に入り ..... 1-14  
 お問い合わせ先 ..... 4-48  
 お願いとご注意 ..... 4-20  
 おもな仕様 ..... 4-6  
 音量キー ..... 1-4

## か

- 外部接続端子 ..... 1-4  
 かかってきた電話を受けなかったとき ..... 2-5

各部の名前／キーのはたらき	1-4
カテゴリ	1-14
カメラ	2-16、4-23
カメラ(アウトカメラ)	1-5
画面の自動消灯	1-11
画面の見かた	
アプリ使用履歴	1-12
カレンダー	2-19
ステータスバー	1-11
静止画撮影画面	2-16
通知パネル	1-11
トップページ(使い方ガイド)	2-20
ナビゲーションバー	1-12
ホーム画面	1-10
画面ロック	1-8、4-26
画面を拡大する	3-2
カレンダー	2-19
簡易留守録	1-3
漢字などに変換する	1-16

## き

キーのはたらき(文字入力)	1-16
技術基準適合証明について	4-21
機内モード	1-3
機能メニューを表示する	1-12
基本的な使いかた	1-10
強制的に電源を切る	4-22

緊急速報メールについて	4-25
近接／明るさセンサー	1-4

## &lt;

空気抜き穴	1-5
-------	-----

## こ

こんなときは	4-2
--------	-----

## し

写真などを添付する	2-10
充電時のご注意	1-7
充電／着信ランプ	1-4
充電のしかた	1-6
受信メールを確認する	2-12
受話口	1-4
省エネ	3-7
使用材料	4-7
情報を閲覧する(インターネット)	2-14
初期設定	1-8

## す

ステータスバー	1-10
ステータスバー(アイコン)	1-11
ストラップ取り付け穴	1-4
スピーカー	1-5
すべての使用履歴を消去する	1-12

## せ

静止画撮影画面のおもなマーク	2-16
静止画を撮影する	2-16
赤外線ポート	1-5
設定できるおもな項目と内容	3-6

## そ

操作暗証番号	3-8
送話口	1-4

## た

タッチパネル	4-23
タッチパネルの使いかた	1-5
タップ	1-5

## ち

地図	2-18
知的財産権について	4-27

## つ

通知パネル	1-11
使い方ガイドを見る	2-20

## て

ディスプレイ	1-4
電源キー	1-4

電源を入れる	1-8
電源を切る	1-9
電池の消耗を軽減する	3-7
電池レベル	1-11
電波レベル	1-11
電話	2-2
電話機の比吸収率(SAR)	4-33
電話帳	2-6
電話帳で電話をかける	2-7
電話帳利用時のご注意	2-8
電話帳を登録する	2-6
電話の履歴を利用する	2-4
電話を受ける	2-5
電話をかける	2-2
電話をかける回線を設定する	3-7

## と

動画を撮影する	2-17
トップページの見かた(使い方ガイド)	2-20
ドライブマナー	1-3
ドラッグ	1-5

## な

内蔵電池について	4-22
長押し	1-4
ナビゲーションバー	1-10、1-12

## に

入力した文字を修正する…………… 1-16

## は

パスワード(Wi-Fi)…………… 3-4

発信時優先回線設定…………… 3-7

## ひ

ひらがなを入力する…………… 1-15

ピンチ…………… 1-5

ピンチアウト…………… 1-5

ピンチイン…………… 1-5

## ふ

ブックマーク…………… 2-14

フリック…………… 1-5

## へ

返信する…………… 2-12

## ほ

防水性能について…………… 4-8

防水性能を維持するために…………… 4-10

ホーム画面…………… 1-9

ホーム画面のしくみ…………… 1-10

ホームキー…………… 1-4

保証とアフターサービス…………… 4-47

本機の洗いかた…………… 4-10

本機の詳しい情報を確認する…………… 2-20

本機の誤動作を防ぐための画面…………… 1-8

本機のはたらきを設定する…………… 3-6

## ま

マナーとルール…………… 1-2

マナーモード…………… 1-3

マナーを守るための便利な機能…………… 1-3

## み

水抜きのみかた…………… 4-11

## む

虫眼鏡を利用する…………… 3-2

## め

メール…………… 2-9

メールのWi-Fi接続設定を行う…………… 3-5

## も

文字サイズを変更する(インターネット)…………… 2-14

文字入力のしかた…………… 1-15

モバイルライト…………… 1-5

## ろ

ロックNo.…………… 4-26

ロングタッチ…………… 1-5

## 保証とアフターサービス

### 保証について

保証書は、本書(裏表紙)にあります。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
- 保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です(ただし電池、試供品、消耗部品は除きます)。

- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。なお、故障/修理/機種変更の際や、その他の取り扱いなどによって、本機に登録したデータ(電話帳・音楽・静止画・動画など)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

### アフターサービスについて

#### ■補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後5年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

#### ■修理を依頼されるときは

「こんなときは」(P.4-2) をご覧になってお調べください。それでも異常があるときは使用を止めて、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(P.4-48)にお問い合わせください。ご自分での修理はしないでください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## お問い合わせ先

## ◆電話機の操作方法に関するご相談・お問い合わせ◆

## ■シャープ株式会社

お客様相談センター

☎0120-606-512

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

[受付時間] 月曜～金曜 9:00～18:00

(土・日・祝日および年末年始等、弊社休業日を除く)

## ◆電話機の修理に関するお問い合わせ◆

## ■シャープ株式会社

通信システム事業本部

移動体サービス事業推進センター

サービス推進部 中国第2センター PHS担当

☎0570-081010

※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

※IP電話・PHSからはご利用いただけません。

082-420-1757におかけください。

[受付時間] 月曜～金曜 9:00～17:40

(土・日・祝日および年末年始等、弊社休業日を除く)

## ◆ウィルコムサービスに関するお問い合わせ◆

## ■ウィルコムサービスセンター

## ●総合窓口(通話料有料)

ウィルコムの電話から 151

※「だれとでも定額」の無料通話対象となります。

他社ケータイ、固定電話などから 0570-039-151

[オペレーター対応時間]9:00～20:00(年中無休)

## ●各種お手続き(通話料無料)

ウィルコムの電話から 116

他社ケータイ、固定電話などから 0120-921-156

[受付時間]自動音声応答にて24時間受付(年中無休)

オペレーターが受け付けした各種お手続きは、内容により手数料がかかります。

## 【無料修理規定】

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
  - 使用上の誤りによる故障および損傷。
  - 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
  - お買い上げ後の落下、水の浸入および圧迫などによる故障および損傷、または落下、水没、水濡れなどの痕跡がある場合。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、異常電圧など不慮の事故による故障および損傷。
  - 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。(著しくゴミ、ホコリなどが付着している場合も同様とします。)
  - 指定以外の電池パック・充電器などをお使いになり故障した場合。
  - 電池(内蔵型・電池パック型)、その他消耗部品の交換。
- 本製品が不当に修理や分解/改造された場合や本体貼付ラベルを改変および取り外した製品は、修理(有料修理を含む)をお引受けできない場合があります。
- 本製品内部に水分の付着などによる腐食が認められた場合や破損が著しい場合は、修理不能(有料修理を含む)となる場合があります。
- 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事故については責任を負いかねます。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
- 修理により交換した交換元部品の所有権は、有料修理、無料修理を問わず、シャープ株式会社に帰属します。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 修理内容につきましては別途書面によりご説明いたします。

### 修理メモ

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

## 保証書

<b>形名</b>	<b>WX05SH</b>	<b>取扱販売店名・住所・電話番号</b>	
<b>お客様</b>	ふりがな <b>お名前</b> <span style="float: right;">様</span>		
	----- ご住所 〒		
	----- 電話番号  (        )        -	<b>保証 期 間</b>	お買い上げ日  年    月    日 より ----- 本体は <b>1年間</b> (ただし電池、試供品、 消耗部品は除く)

### 持込修理

本書は、裏面記載の範囲で無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、取扱説明書に記載のウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

保証書記載の個人情報の取扱いに関する詳細は、

<http://www.sharp.co.jp/support/guarantee-cp.html>

をご参照ください。

## シャープ株式会社

**本 社**

〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

**通信システム事業本部**

〒739-0192 広島県東広島市八本松飯田2丁目13番1号